



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社今仙電機製作所

コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤掛 治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長

(氏名) 阿部 隆行

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	35,741	△15.1	786	△76.9	801	△74.1	231	△85.3
23年3月期第2四半期	42,079	25.1	3,399	124.6	3,087	80.4	1,580	98.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △73百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 1,184百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	12.90	11.66
23年3月期第2四半期	88.88	79.51

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	60,219		32,195			51.9
23年3月期	63,308		32,492			49.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 31,260百万円 23年3月期 31,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,100	△4.4	4,300	△33.0	4,700	△20.1	2,400	△34.9	133.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 武漢今仙電機有限公司、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	18,172,737 株	23年3月期	18,172,737 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	215,263 株	23年3月期	215,263 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	17,957,474 株	23年3月期2Q	17,779,172 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興が進み、企業の生産活動の持ち直しがみられてきましたが、欧州の財政問題の深刻化や長期化する円高などの影響から先行きは依然不透明な状況が続いております。

自動車業界におきましては、震災により寸断されたサプライチェーンの復旧が急速に進み、生産は回復してまいりましたが、急激な円高の進行により収益の悪化が懸念されるなど依然厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中で当社グループは、激変する事業環境の変化に緊急避難措置で対応する一方で、中期経営計画「Proud 2nd Stage (Recovery 1-2-3)」の最終年度として、「全ての業務で既成概念にとらわれない改善を進め、最適化された事業を鍛え上げる」を目標に、「スピード」ある事業運営を実現し、成長路線への回復を目指して取り組んでまいりました。

しかしながら、震災による自動車生産の減産の影響が大きく、当第2四半期連結累計期間の売上高は35,741百万円（前年同期比15.1%減）、経常利益は801百万円（前年同期比74.1%減）、四半期純利益は231百万円（前年同期比85.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、震災により主要得意先の自動車生産が大幅に減少した影響から、売上高は33,529百万円（前年同期比16.1%減）、営業利益は762百万円（前年同期比77.1%減）となりました。

(b) ワイヤハーネス関連事業

工作機械関連機器向けの受注が回復してきましたが、航空機関連向けの受注が厳しい状況にあり、売上高は1,221百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益は3百万円（前年同期比88.4%減）となりました。

(c) 福祉機器関連事業

電動車いすの売上は堅調に推移しましたが、新社屋に伴う費用が増加したことから、売上高は544百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は35百万円（前年同期比29.4%減）となりました。

(d) 自動車販売関連事業

国内自動車販売は、震災の影響により販売が減少したことから、売上高は446百万円（前年同期比10.1%減）、営業損失は21百万円（前年同期は13百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当第2四半期末における総資産は、60,219百万円（前期末比3,088百万円の減少）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少（1,645百万円）などにより、34,388百万円（前期末比3,880百万円の減少）、固定資産は、有形固定資産の増加（1,361百万円）などにより、25,831百万円（前期末比792百万円の増加）となりました。

(ロ) 負債

当第2四半期末における負債は、28,024百万円（前期末比2,790百万円の減少）となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少（2,123百万円）などにより、21,047百万円（前期末比2,934百万円の減少）、固定負債は、6,977百万円（前期末比144百万円の増加）となりました。

(ハ) 純資産

当第2四半期末における純資産は、32,195百万円（前期末比297百万円の減少）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、2,341百万円（前年同期比33.9%増）、投資活動に使用した資金は、2,450百万円（前年同期比121.9%増）、財務活動に使用した資金は、1,576百万円（前年同期比42.5%増）となりました。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は7,818百万円と前第2四半期末に比べ901百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,341百万円の増加となりました。これは主として、減価償却費が1,965百万円、売上債権の減少額が1,662百万円であったのに対し、仕入債務の減少額が2,141百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,450百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が2,382百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,576百万円の減少となりました。これは主として、短期借入金が467百万円純減したこと、リース債務の返済による支出が518百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月26日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しましたとおり、平成24年3月期の第2四半期累計期間の業績につきましては、連結・個別ともに売上高・営業利益は平成23年6月21日に公表しました業績予想を上回りました。

通期の業績予想につきましては、当社連結子会社のイマセン マニュファクチュアリング (タイランド) カンパニー リミテッドが洪水被害を受けており、その被害額及び平成24年3月期通期業績に与える影響につきましては現在把握が困難でありますので、平成23年6月21日に公表しました通期連結業績予想を変更しておりません。合理的な算定が可能になり次第、公表いたします。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間より、平成23年4月に資本金の払い込みを完了した武漢今仙電機有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

<追加情報>

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,825	8,149
受取手形及び売掛金	19,691	18,045
たな卸資産	5,963	5,340
その他	2,791	2,855
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	38,269	34,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,057	7,154
機械装置及び運搬具（純額）	5,621	5,735
その他（純額）	8,517	9,667
有形固定資産合計	21,196	22,557
無形固定資産		
その他	344	349
無形固定資産合計	344	349
投資その他の資産		
投資有価証券	3,280	2,643
その他	253	316
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	3,498	2,924
固定資産合計	25,038	25,831
資産合計	63,308	60,219
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,998	10,874
1年内償還予定の社債	500	500
短期借入金	3,332	2,523
未払法人税等	770	419
賞与引当金	1,147	1,156
その他	5,233	5,574
流動負債合計	23,982	21,047
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	601	576
退職給付引当金	1,454	1,262
その他	1,776	2,138
固定負債合計	6,833	6,977
負債合計	30,815	28,024

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,548	4,548
資本剰余金	4,281	4,281
利益剰余金	23,544	23,578
自己株式	△108	△108
株主資本合計	32,265	32,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	952	567
為替換算調整勘定	△1,665	△1,606
その他の包括利益累計額合計	△713	△1,039
少数株主持分	939	934
純資産合計	32,492	32,195
負債純資産合計	63,308	60,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	42,079	35,741
売上原価	35,111	31,632
売上総利益	6,968	4,108
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,409	1,162
給料手当及び賞与	912	938
賞与引当金繰入額	138	147
退職給付費用	34	34
減価償却費	36	40
その他	1,037	999
販売費及び一般管理費合計	3,569	3,322
営業利益	3,399	786
営業外収益		
受取利息	14	25
受取配当金	24	32
その他	110	79
営業外収益合計	150	138
営業外費用		
支払利息	71	58
為替差損	352	47
その他	37	17
営業外費用合計	462	123
経常利益	3,087	801
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産処分損	34	9
投資有価証券評価損	10	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	—
特別損失合計	57	13
税金等調整前四半期純利益	3,033	788
法人税、住民税及び事業税	1,558	432
法人税等調整額	△138	99
法人税等合計	1,420	531
少数株主損益調整前四半期純利益	1,613	256
少数株主利益	33	25
四半期純利益	1,580	231

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,613	256
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△198	△390
為替換算調整勘定	△230	59
その他の包括利益合計	△428	△330
四半期包括利益	1,184	△73
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,165	△94
少数株主に係る四半期包括利益	19	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,033	788
減価償却費	1,974	1,965
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△87	△191
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	8
受取利息及び受取配当金	△39	△58
支払利息	71	58
投資有価証券評価損益(△は益)	10	4
固定資産処分損益(△は益)	31	8
売上債権の増減額(△は増加)	△1,644	1,662
たな卸資産の増減額(△は増加)	△667	616
仕入債務の増減額(△は減少)	1,032	△2,141
その他	△21	408
小計	3,696	3,130
利息及び配当金の受取額	39	56
利息の支払額	△72	△60
法人税等の支払額	△1,915	△785
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,748	2,341
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	12	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,086	△2,382
有形固定資産の売却による収入	30	14
投資有価証券の取得による支出	△18	△20
その他	△42	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,104	△2,450
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30	△467
長期借入金の返済による支出	△431	△367
リース債務の返済による支出	△454	△518
配当金の支払額	△177	△197
その他	△13	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,106	△1,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△533	△1,677
現金及び現金同等物の期首残高	9,254	9,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,720	7,818

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車 販売関連 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	39,986	1,065	529	496	42,079	—	42,079
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5	0	1	7	△7	—
計	39,986	1,071	530	498	42,086	△7	42,079
セグメント利益又は損失(△)	3,325	26	50	△13	3,389	9	3,399

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車 販売関連 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	33,529	1,221	544	446	35,741	—	35,741
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2	0	0	2	△2	—
計	33,529	1,223	544	446	35,744	△2	35,741
セグメント利益又は損失(△)	762	3	35	△21	780	5	786

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

平成23年10月にタイにおいて発生しました洪水により、当社連結子会社のイマセン マニュファクチュアリング（タイランド）カンパニー リミテッドが浸水被害を受けており、平成23年10月13日より操業を停止しております。この洪水による損害額、財政状態及び経営成績に与える影響につきましては、現時点では合理的な算定は困難であります。